

## 総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市梅ヶ島高齢者生活福祉センター		
課名	高齢者福祉課		
指定管理者名	社会福祉法人 桂		
指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和5年5月29日（月）		
評価委員 ※（ ）内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 杉原 義人（高齢者福祉課長） ②委員 平林 則彦（介護保険課長） ③ 〃 酒井 真（地域包括ケア・誰もが活躍推進本部次長） ④ 〃 内田 全城（常葉大学准教授） ⑤ 〃 永井 滋子（葵区民生委員・児童委員協議会副会長）		
評価点 （各委員平均点）	86.4点	評価	A・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">B</span> ・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	<p>地域に根差した運営が行われており、良好なコミュニケーションによって業務改善が図られた結果、利用者の増加に繋がっている。</p> <p>ニーズ調査結果に対する公表・分析へのプロセス循環がシステムとして構築されていない点はあったが、調査時に限定されない細やかな対応を続けることで利用者へ高い満足度を提供できた。</p> <p>指定管理者が運営する別施設での知見も取り入れることで、利用者の利用意欲の増進も図られており、総合的には良好な施設運営がなされたと認められる。</p>		

## 総合評価結果総括表

施設の名 称 [ 静岡市梅ヶ島高齢者生活福祉センター ]  
 指定管理者名 [ 社会福祉法人 桂 ]

課名 [ 高齢者福祉課 ]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
<b>1 履行状況の確認 【配点50点】</b>						
(ア) 事業の円滑な実施 (15点)	12	12	12	12	15	12.6
(イ) 適正な人員配置 (10点)	8	8	8	8	10	8.4
(ウ) 安心・安全を最優先した施設の維持管理 (15点)	9	9	15	15	15	12.6
(エ) 庶務事務 (10点)	6	8	10	8	10	8.4
小 計	35	37	45	43	50	42.0
<b>2 指定管理者の創意工夫 【配点15点】</b>						
(ア) 指定管理者による事業の提案と実施 (10点)	10	6	10	10	10	9.2
(イ) 福祉サービスの実施 (5点)	5	3	5	3	5	4.2
小 計	15	9	15	13	15	13.4
<b>3 市民（利用者）のサービスの向上 【配点15点】</b>						
(ア) 利用者の満足度調査が実施されている。(5点)	5	5	5	5	5	5.0
(イ) 利用者満足の向上に努めている。(5点)	5	5	5	3	5	4.6
(ウ) 利用者等からの要望、苦情への対応がされている。(5点)	5	3	5	5	3	4.2
小 計	15	13	15	13	13	13.8
<b>4 施設固有の評価項目 【配点20点】</b>						
(ア) 介護保険サービス事業 (5点)	5	5	5	5	5	5.0
(イ) 居住機能事業 (5点)	3	3	3	3	3	3.0
(ウ) 地域交流事業 (5点)	3	5	5	5	5	4.6
(エ) 事業の周知等、利用者増へ向けた取り組み (5点)	5	3	5	5	5	4.6
小 計	16	16	18	18	18	17.2
合 計	81	75	93	87	96	86.4

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

**【A評価委員】**

説明はされたが資料として添付されていないものがあった。  
地域性を活かした取組がされている。  
地域で愛されていることがうかがえる。  
環境に左右されやすい中で活動している。

**【B評価委員】**

コロナ禍において事業が計画どおりに進まない事もあったと思われるが、できる限りでの対応がされていた点は良かった。  
満足度がかなり高い得点となっている。特に昼食の工夫により評価が高いとのことであったが、職員の努力がうかがわれる。  
年々、介護サービス事業を受ける方が増加している中で、職員の負担も多くなると思われるので、生産性の向上を図る取り組みが今後必要となるのではないかと。  
梅ヶ島という限定的な地域で、地域の中にもよく溶け込んで事業を進めている。  
中山間地においては特に高齢化が進んでいるのでセンターの役割・意義に大いに期待する。

**【C評価委員】**

提出資料及び説明で適切な履行状況が確認できた。  
利用者が楽しめるよう創意工夫が図られている。  
実績等で総合的に指定管理業務を適切にできていることを確認できた。

**【D評価委員】**

適正な履行がされている。規定の見直しや計画策定時には、目標や効果判定の指標設定の検討が望まれる。  
ニーズの掘り起こしや地域資源の活用など、創意工夫されている点が評価できる。  
意見箱など、実績がないことに関する検討が望まれる。  
調査実施は評価できるが、公表や分析（対策）へのプロセス循環の整備が望まれる。  
適正な事業が遂行されている。  
ニーズに基づく創意工夫により利用者増につながっている点が評価できる。一方、規定や計画の策定後の検証と対策・改善点の抽出に至るまでのPDCAサイクルの体制整備が望まれる。

**【E評価委員】**

地域とのコミュニケーションが良くとれていると思います。  
職員への健康管理も重要と思います。

評価委員会としての意見

業務を適正に履行しており、コミュニケーションをとりながら地域や利用者ニーズの掘り起こしがなされている。また、それらによって利用者増につながっている点が評価できる。一方、ニーズ調査については公表等のプロセス循環の整備が望まれる。

高齢化が進む地域におけるサービス拠点として、質の向上や地域貢献に努めた事業運営がされていることは高く評価できる。

規程や計画の策定後の検証・改善点の抽出についてPDCAサイクルの体制整備が行われ事業の一層の改善が行われることが望まれる。